



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 令和3年9月号

令和3年度 前期が終わりました

今年の中秋の名月を見ることができましたか。今回は全校の皆さんにお話しするつもりでこの文章を書きました。幼小部の皆さんは分かりづらいかもかもしれませんが、その時は保護者の方に教えてもらってください。

皆さんは、保護者の方や先生方に、「よく考えなさい」と言われることがあると思います。考えるって、どんなことだと思いますか。

「なぜだろう」「どうしたらいいかな」とポジティブに・積極的に思いを巡らすことも「考える」という行為です。でも、「悩む」ということも「考える」という行為だと思いますが、ネガティブ・消極的な行為だと思います。

人はそれぞれですが、「考えてから、物事を決めますか」それとも「物事を決めてから、考えますか」。問題を解く時などは、考えてから、答えを出しますよね。まさか、鉛筆を転がして答えを決めてから、この答えはこうだからこうなんだなって考えるわけではないと思います。でも、すべてのことが、よく考えてから物事を決めるわけではありません。

スポーツの時などは違いますよね。バッターボックスに立って、投げられたボールを打つか打たないかを、考えてからバットを振ったらタイミングが合いませんよね。打つか打たないかは瞬間的な判断です。振った後に、今のボールはどうだったのかを考えることになると思います。スポーツ解説などは、その時のプレー内容をわかりやすく説明してくれます。そして、こうすればよかったとか反省するわけですね。でもスポーツなどの場面で、その瞬間的な判断力、直観力は、練習によってついていくものでもあると思います。だから、繰り返しの練習が大切になってくるのですね。

今日で、前期の授業が終わりました。通知表が皆さんの手に渡ると思います。そこで考えてみてください。前期の自分の生活や学習の状況をです。考えてから、学習計画を立てて実行することも大切です。とりあえず、テストを受けてから「しまった」って考えることも大切かもしれません。どちらにしても、考えるという行為が、皆さんを成長させていきます。

現在、私が心配しているのが、電子機器のゲームの使用時間の長さです。現地校では対面授業が始まったとしても、家庭でゲームなどに多くの時間を使うようになってしまった人もいないのではないでしょうか。ゲームや携帯電話は、ヒトが考えようとする行為を奪う傾向があります。特に小学校高学年の人や中学生は今でこそ、しっかり物事を考える習慣を身につけなくてはなりません。本を読んだり、じっくり考えたりする時間が、皆さんにとって、すごく大切な時間なのです。これから秋が深まっていきます。幼小部の皆さんも、

中高部の皆さんも、少しでも多く考える時間をつくって欲しいと思います。来週から始まる後期に備えて、じっくり考える時間をつくってください。